

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもサポートセンター うるら		
○保護者評価実施期間	2025年 03月 01日 ～ 2025年 03月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	2025年 03月 01日 ～ 2025年 03月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 04月 01日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・月ごとの行事を大切にしつつ、毎日の活動プログラムによる、個々の活動に対する充実感。	・毎月、その季節にあった行事を取り入れて、子ども達がより季節を感じていけるように工夫をしている。また、毎日の活動プログラムにより、子どもたちの達成感・成長を伸ばしていく。	・限られた時間の中で、個々にあった療育を取り入れていけるよう、職員の知識を上げていく。
2	・職員間の話し合いの場を設け、チームワークを大事にしている。	・朝礼、夕礼の際にその日の出来事などを話す時間を毎日設けている。その場で気付いたことや保護者からの要望などを共有し、改善へと繋げていっている。また、送迎時などを利用し、保護者の要望を取り入れ、支援に繋げている。	・さらなる職員間の情報共有を強めていき、伝えていきやすい環境づくりをする。今後も送迎時などを利用し、保護者の要望・意見を踏まえ、チーム間で共有を図り、より適切な環境づくりを行っていくように努める。
3	・自然豊かな環境下を生かし、農業や飼育などを取り入れている。	・敷地内に畑やメダカの飼育所を設け、自宅や学校とは違った体験をできるようにしている。畑で収穫をした野菜は、子ども達自らの手で調理をし、より身近に感じていけるようにしている。	・子どもたちの意見も取り入れ「やってみたい」と言う、挑戦心を伸ばしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者間のつながりが弱い。	・保護者会は行っているが、のちの交流会の時間を設けるまでは難しかった。	・今後も保護者会は実施をしつつ、交流をする場として食事会などを提案していきたい。
2	・地域交流の場が少ない。	・町内清掃などは行っているが、地域交流へとつなげるまでには至っていない。実施を試みたが、定員の問題から実現はできていない。	・まずは地域の店舗利用や交流の場への参加機会を増やしていきます。マルシェへ出店するための出品用品は子ども達が作った為、拡げていく活動をしていきたい。
3			